

火山地域で発生する土石流が尾根を乗り越える危険に関する 調査要領(試行案)【概要】

第1章 総説

1.1 目的

本調査要領は、地形の開析が進んでいない火山地域において、土石流が尾根を乗り越えて流下する危険性を把握するための考え方を示し、そのような危険性を踏まえた土砂災害対策の推進に資することを目的。

1.2 適用範囲

適用範囲は、地形の開析が進んでいない火山地域において、土石流が発生する危険性のある溪流の調査を想定。それ以外での準用を妨げない。

1.3 調査の手順

調査の手順は、①地形調査により溪流の開析状況を把握。②危険地点の抽出。③保全対象への影響評価。

第2章 溪流の開析状況の調査

2.1 調査の対象とする溪流

調査対象溪流は、土石流が発生する危険性のある溪流とし、特に、土石流が尾根を乗り越えて流下することにより保全対象への被害が生じるおそれに留意。

2.2 開析状況の調査手法

地形調査は、数値標高データを用いて溪流周辺の開析状況を評価。

第3章 土石流が尾根を乗り越えて流下する危険のある地点の抽出

3.1 抽出手順

土石流の流出土砂量等の規模を設定した上で、谷出口よりも上流域における土石流の数値計算等の手法を用い、土石流が尾根を乗り越える危険のある地点を抽出。

3.2 土石流の流出土砂量等の規模の考え方

土石流の流出土砂量等の規模は、想定される計画対象現象に合わせて設定。

3.3 土石流が尾根を乗り越える危険のある地点の抽出手法

抽出手法は、溪流の湾曲部におけるエネルギー評価手法を基本とし、計算モデルや計算開始点などの適切な選定等ができる場合は土石流氾濫シミュレーションなどによる評価を行ってもよい。

第4章 土石流が尾根を乗り越えて流下した場合の保全対象への影響評価

4.1 保全対象への影響評価

尾根を乗り越えた土石流の氾濫範囲は、土石流氾濫シミュレーションにより推定。

4.2 氾濫開始点の設定

氾濫開始点は土石流が尾根を越えて他流域に流下するおそれがあると評価された地点よりも上流に設定。

4.3 その他の計算条件の設定

その他の計算条件は各火山地域の特性に応じて設定。